

Ⅲ 歯科疾患実態調査結果の概要

Ⅲ 歯科疾患実態調査結果の概要

概 要

本調査結果については、過去2回（平成17年度、平成22年度）にわたって実施した調査結果と比較、検討を行った。各調査内容別にみた本調査結果の概要は以下のとおりである。

1) 歯科健診診査による調査結果

(1) 20歯以上の歯を有する者

20歯以上の歯を有する者の割合は、全ての年代で全体的に増加傾向にある。また、高齢者においては、20歯以上有する者の増加は顕著である。

(2) 歯の状況

●現在歯の状況

全ての年代において過去調査に比べて増加を認める。

40歳代までは徐々に少なくなり、50歳代以降で急激に少なくなっているが、減少する割合は前回調査に比べて緩やかになっている。

●健全歯の状況

80歳以上を除くほとんどの年代で、前回調査より健全歯数の増加を認める。

●むし歯の状況

むし歯に罹っている者の割合は、20歳代、30歳代では減少傾向が見られるものの、40歳～50歳代では横並び状態である。60歳代からは増加傾向にあり、70～80歳代においては増加傾向が顕著である。

●未処置歯の状況

多くの年代において前回の調査より未処置歯を有する者の割合は全体に減少傾向にあるが、前回の調査より20歳代、30歳代の増加は顕著である。

●処置歯の状況

一人平均処置歯数は、20歳代、30歳代、40歳代で減少傾向にあるが、50歳代以降では増加傾向にある。

●喪失歯の状況

喪失歯のある者の割合は、20歳代で9.9%、30歳代17.7%、40歳代32.2%、50歳代64.5%、60歳代85.6%と年代を追う毎に増加している。平成22年度調査と比較して40歳代、50歳代では顕著な減少が見られる。

(3) 補綴の状況

補綴を必要とする者が全体の50.6%で前回調査に比べてわずかに減少しているが、補綴完了者は全体の23.7%で前回調査に比べて10%減少している。

(4) 歯周病の状況

歯周炎有病者率は、年代を追う毎に増加して60歳代以降では50%以上が歯周病に罹患している。過去調査と比較して50歳代を除くすべての年代で増加傾向にあり80歳以上での増加が顕著である。

1 被調査者の状況

被調査者数

(単位：人)

			10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
1	地 区	男 性	0	2	7	11	8	12	23	6	69
		女 性	0	51	116	35	19	34	37	13	305
		計	0	53	123	46	27	46	60	19	374
2	事 業 所	男 性	1	87	156	137	98	57	13	1	550
		女 性	1	105	158	150	185	95	3	0	697
		計	2	192	314	287	283	152	16	1	1,247
3	そ の 他	男 性	0	31	34	54	51	76	46	22	314
		女 性	0	46	71	92	84	100	61	35	489
		計	0	77	105	146	135	176	107	57	803
合 計		男 性	1	120	197	202	157	145	82	29	933
		女 性	1	202	345	277	288	229	101	48	1,491
		計	2	322	542	479	445	374	183	77	2,424

(単位：人)

平成 17 年度実績	男 性	23	249	322	338	241	130	131	55	1,489
	女 性	24	267	198	223	166	132	173	79	1,262
	計	47	516	520	561	407	262	304	134	2,751
平成 22 年度実績	男 性	5	116	151	162	201	194	156	39	1,024
	女 性	9	256	360	269	261	257	207	81	1,700
	計	14	372	511	431	462	451	363	120	2,724

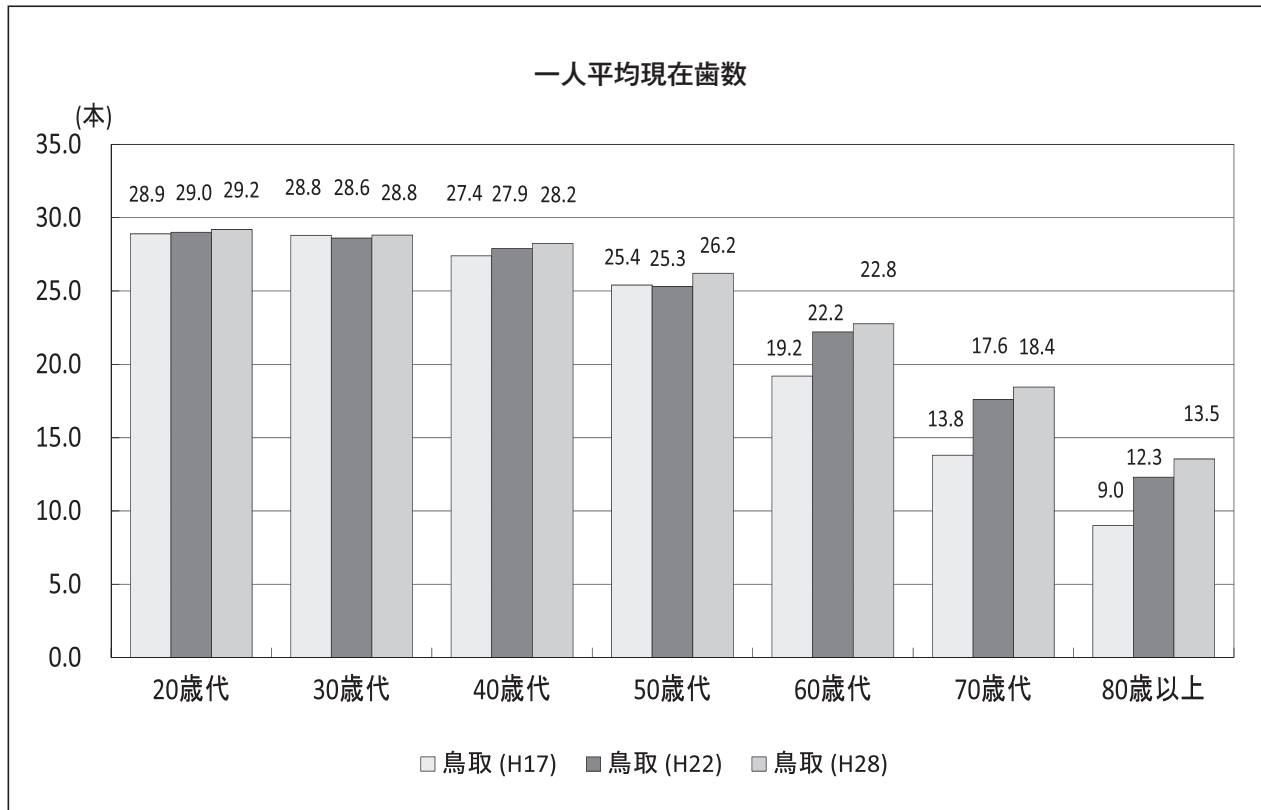
2 歯科健診による調査事項

(1) 現在歯の状況

全ての年代において過去調査に比べて増加を認める。

40歳代までは徐々に少なくなり、50歳代以降で急激に少なくなっているが、減少する割合は前回調査に比べて緩やかになっている。

○過去調査（平成 17 年度、平成 22 年度）との比較

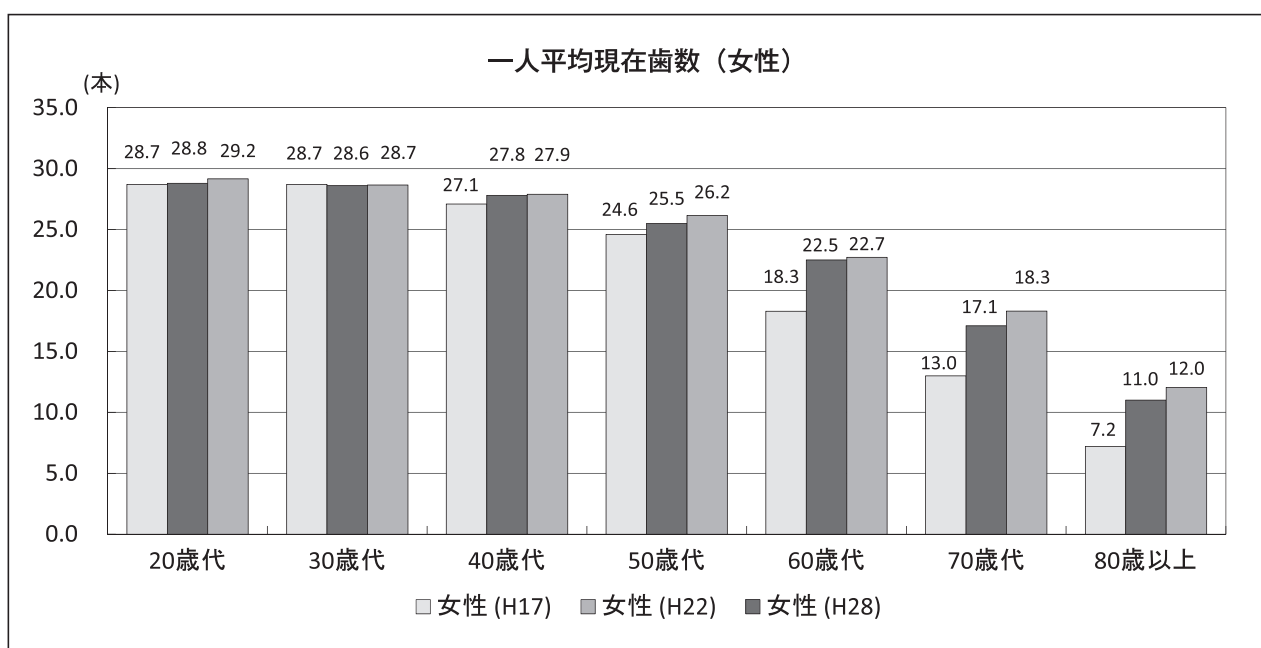
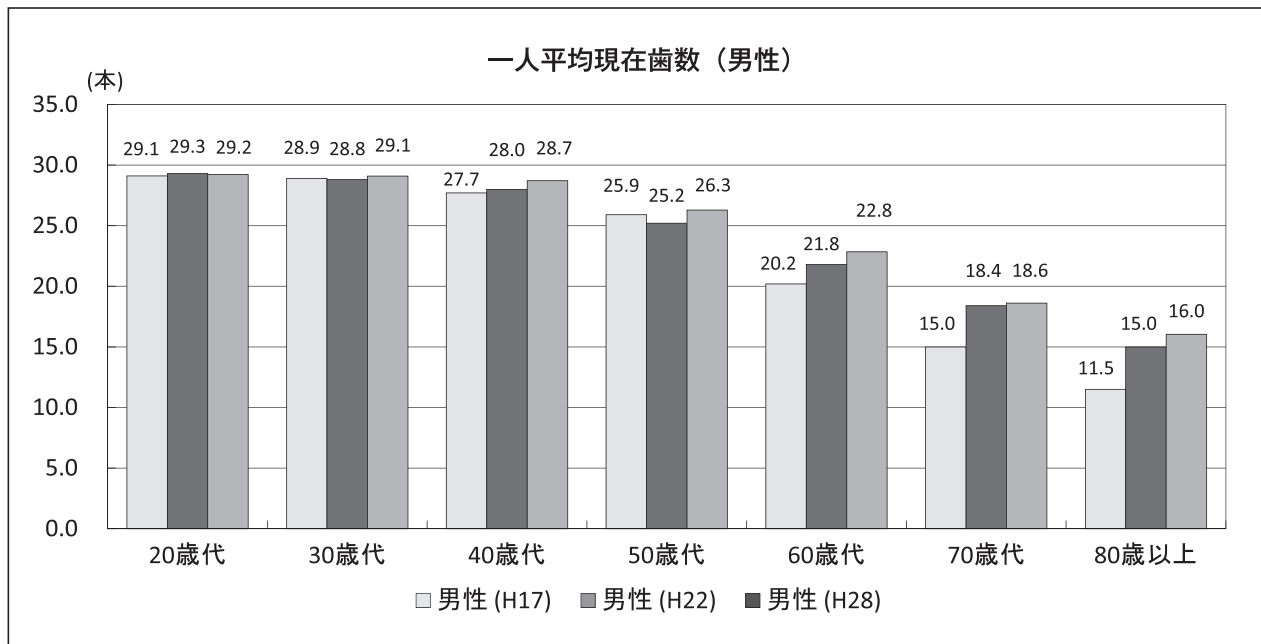


(単位：人)

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
鳥取 (H17)	28.9	28.8	27.4	25.4	19.2	13.8	9.0
鳥取 (H22)	29.0	28.6	27.9	25.3	22.2	17.6	12.3
鳥取 (H28)	29.2	28.8	28.2	26.2	22.8	18.4	13.5
全国 (H23)	28.4	28.4	27.4	25.1	21.9	16.5	10.3

○性別での比較

70歳代までは大きな差は認められないが、80歳以上では、男性よりも女性の方が残存歯数が少なく、4.0本の差がある。



(単位：本)

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
男性 (H17)	29.1	28.9	27.7	25.9	20.2	15.0	11.5
男性 (H22)	29.3	28.8	28.0	25.2	21.8	18.4	15.0
男性 (H28)	29.2	29.1	28.7	26.3	22.8	18.6	16.0
女性 (H17)	28.7	28.7	27.1	24.6	18.3	13.0	7.2
女性 (H22)	28.8	28.6	27.8	25.5	22.5	17.1	11.0
女性 (H28)	29.2	28.7	27.9	26.2	22.7	18.3	12.0

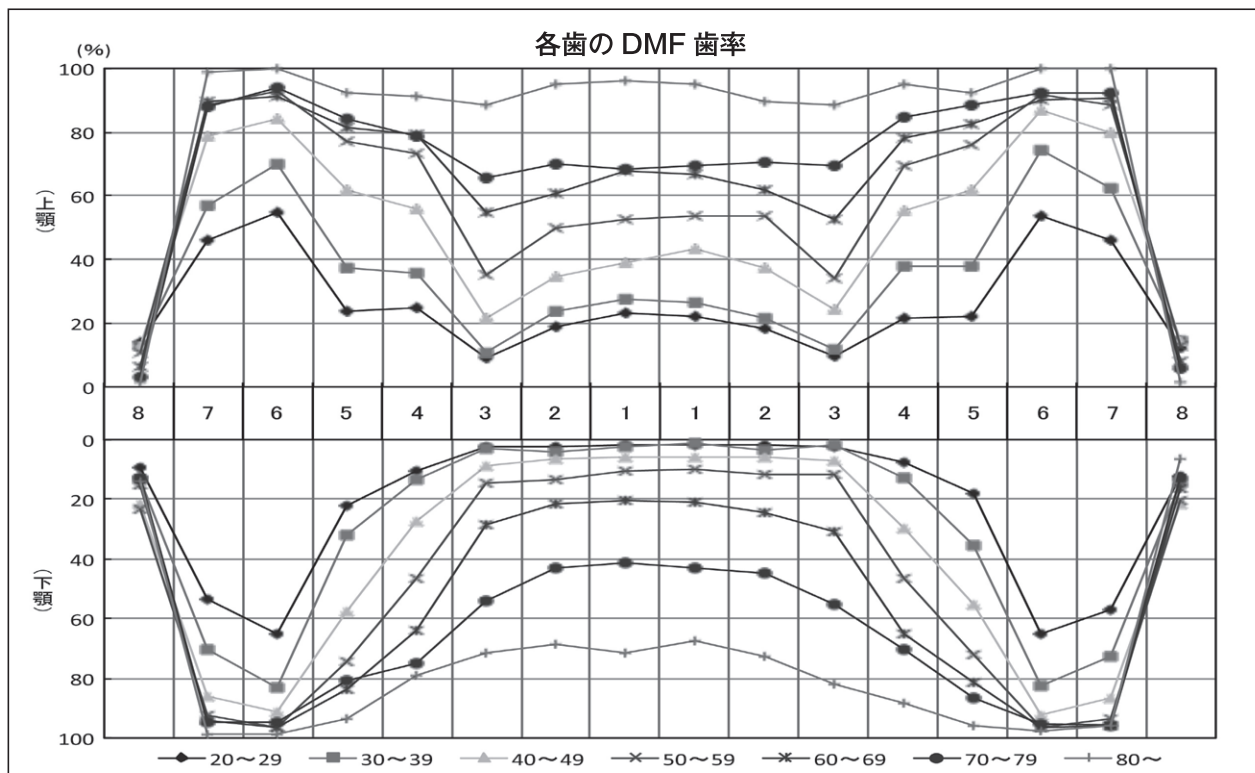
(2) 歯別のDMF 歯率

全ての年代において、上下顎とも臼歯部（特に大白歯部）のDMF 歯率が高い事が認められる。

(単位：％)

年 代	被調査者数	上 顎															
		右 側								左 側							
		18	17	16	15	14	13	12	11	21	22	23	24	25	26	27	28
～ 19	2	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
20 ～ 29	322	14.0	46.0	54.7	23.9	24.8	9.0	18.6	23.0	22.0	18.3	9.6	21.4	22.0	53.7	46.3	12.1
30 ～ 39	542	13.1	57.0	69.9	37.5	35.6	10.9	23.8	27.3	26.2	21.8	11.8	37.8	37.6	74.4	62.5	14.2
40 ～ 49	479	12.9	78.7	84.1	61.8	55.7	21.5	34.9	39.0	43.2	37.2	24.0	55.3	62.0	86.8	80.0	14.6
50 ～ 59	445	10.8	88.3	92.6	77.1	73.3	35.3	49.7	52.4	53.7	53.5	33.9	69.4	75.7	91.5	88.5	12.6
60 ～ 69	374	6.4	89.6	90.9	81.3	79.1	54.5	61.0	67.9	66.6	61.8	52.4	78.1	82.4	89.8	90.4	8.0
70 ～ 79	183	3.3	88.0	94.0	84.2	78.7	65.6	69.9	68.3	69.4	70.5	69.4	84.7	88.5	92.3	92.3	6.0
80 ～	77	1.3	98.7	100.0	92.2	90.9	88.3	94.8	96.1	94.8	89.6	88.3	94.8	92.2	100.0	100.0	1.3
総 数	2,424	10.6	74.3	80.9	59.8	56.8	30.5	41.5	45.2	45.7	42.2	31.0	56.5	59.9	81.8	76.3	11.7

年 代	被調査者数	下 顎															
		右 側								左 側							
		48	47	46	45	44	43	42	41	31	32	33	34	35	36	37	38
～ 19	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0
20 ～ 29	322	9.3	53.7	65.2	22.4	10.2	2.2	2.2	1.9	1.9	1.6	2.5	7.5	18.0	65.2	56.8	12.4
30 ～ 39	542	13.7	70.3	83.2	32.3	13.3	3.0	3.9	2.4	1.1	3.3	1.8	12.7	35.2	82.7	72.7	14.6
40 ～ 49	479	21.7	85.8	91.2	57.4	27.6	8.6	6.5	5.6	5.6	5.6	7.3	29.6	55.5	92.3	86.6	21.7
50 ～ 59	445	23.1	92.6	96.6	74.2	46.5	14.4	13.3	10.3	9.7	11.5	11.5	46.5	71.9	96.6	93.5	20.4
60 ～ 69	374	15.0	94.1	96.5	84.0	64.2	28.3	21.7	20.3	20.9	24.6	30.7	65.0	81.6	96.5	95.7	16.3
70 ～ 79	183	13.1	94.5	94.5	80.9	74.9	54.1	43.2	41.5	43.2	44.8	55.2	70.5	86.3	95.1	95.6	12.6
80 ～	77	14.3	98.7	98.7	93.5	79.2	71.4	68.8	71.4	67.5	72.7	81.8	88.3	96.1	97.4	96.1	6.5
総 数	2,424	16.6	81.6	88.2	57.2	36.4	16.0	13.7	12.3	12.0	13.7	15.8	36.4	56.6	88.3	83.2	16.6

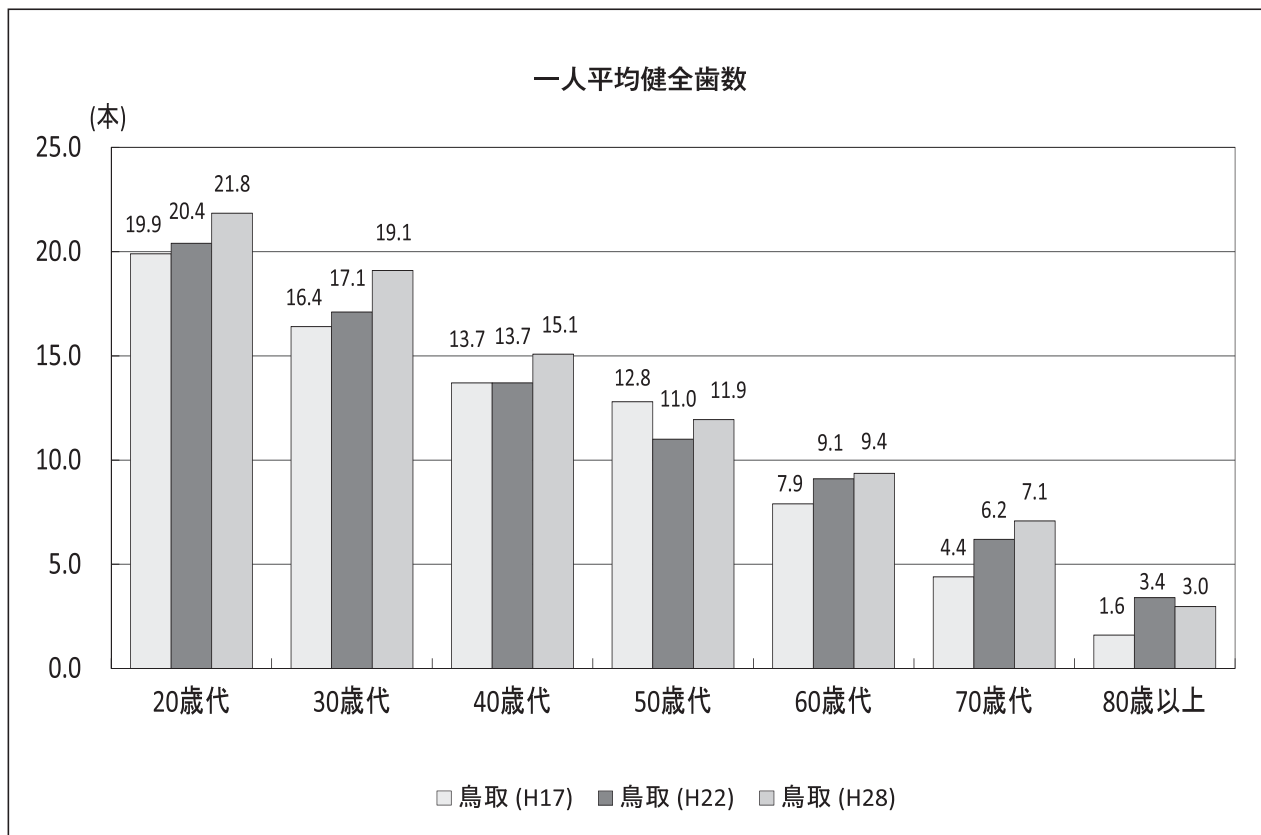


※ DMF 歯：D (う蝕歯)、M (喪失歯)、F (処置歯)

(3) 健全歯の状況

○過去調査（平成 17 年度、平成 22 年度）との比較

80歳以上を除くほとんどの年代で、前回調査より健全歯数の増加を認める。

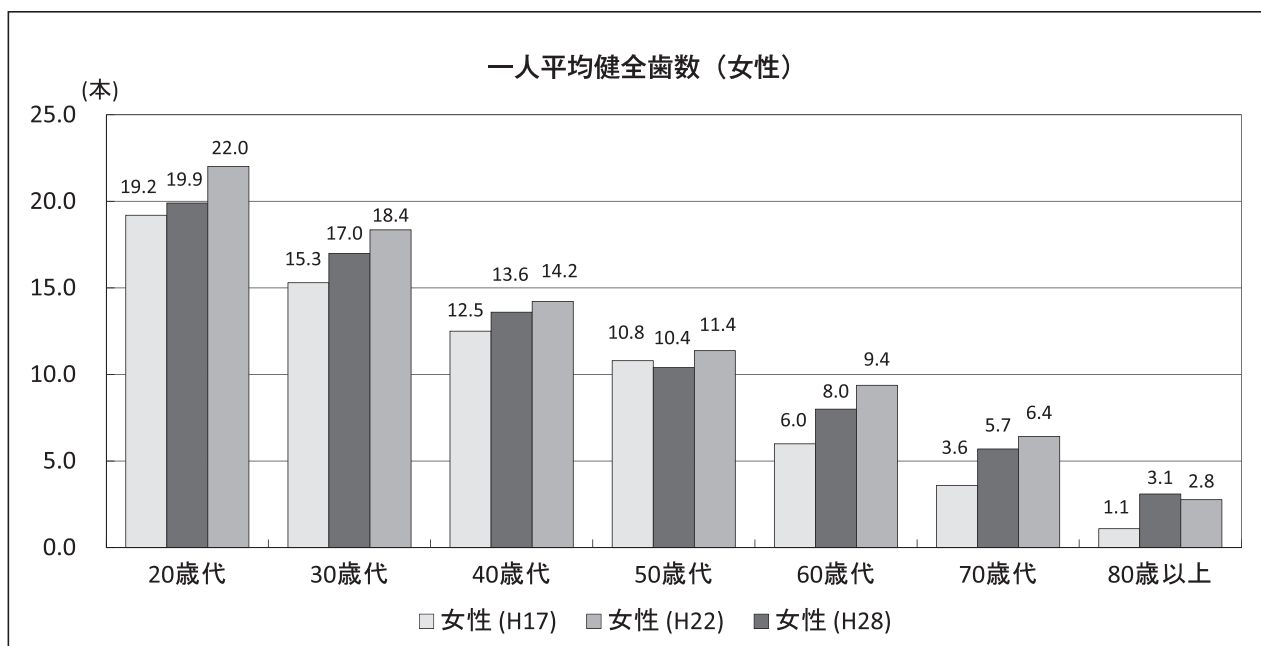
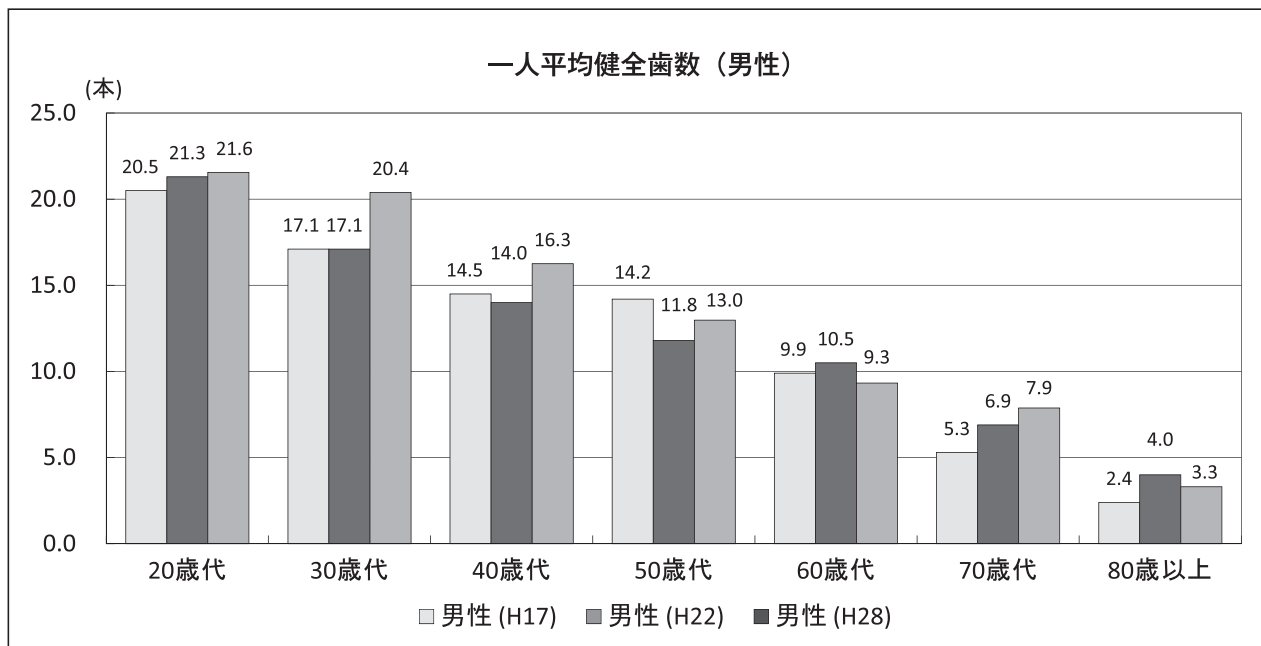


(単位：本)

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
鳥取 (H17)	19.9	16.4	13.7	12.8	7.9	4.4	1.6
鳥取 (H22)	20.4	17.1	13.7	11.0	9.1	6.2	3.4
鳥取 (H28)	21.8	19.1	15.1	11.9	9.4	7.1	3.0

○性別での比較

ほぼすべての年代で、男性が女性より多くの健全歯を有している。



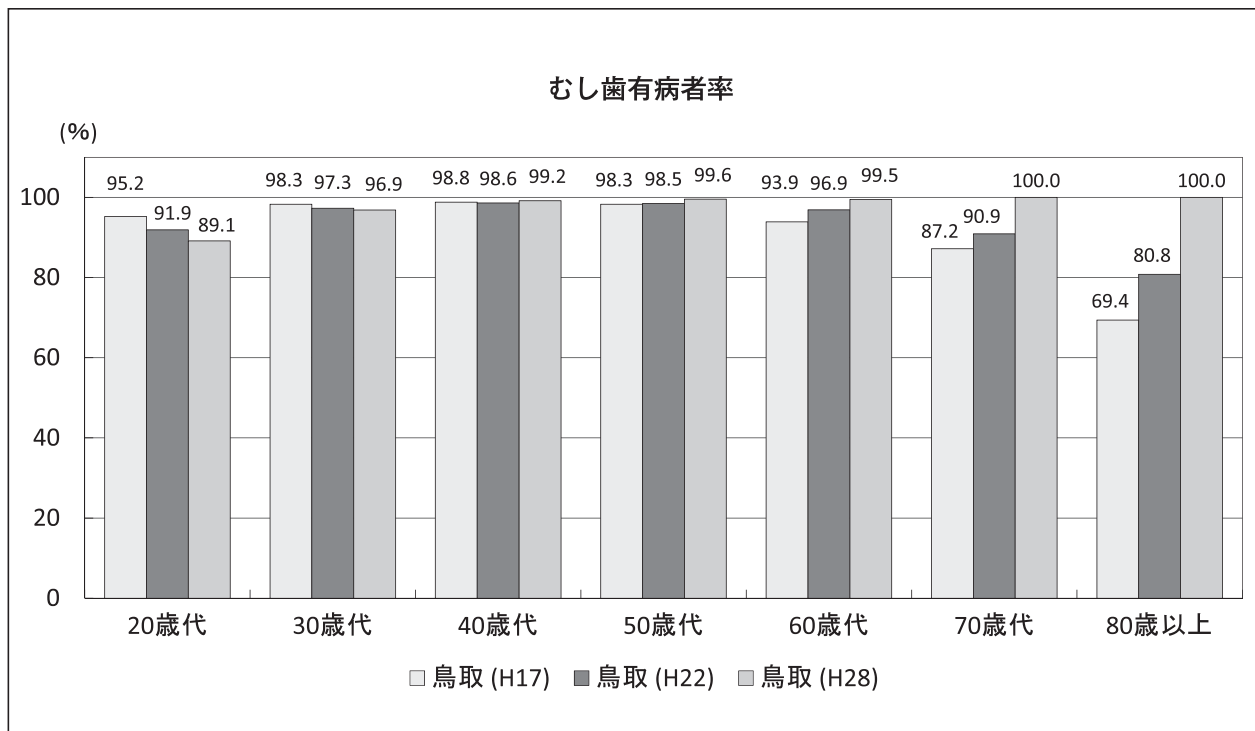
（単位：本）

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
男性（H17）	20.5	17.1	14.5	14.2	9.9	5.3	2.4
男性（H22）	21.3	17.1	14.0	11.8	10.5	6.9	4.0
男性（H28）	21.6	20.4	16.3	13.0	9.3	7.9	3.3
女性（H17）	19.2	15.3	12.5	10.8	6.0	3.6	1.1
女性（H22）	19.9	17.0	13.6	10.4	8.0	5.7	3.1
女性（H28）	22.0	18.4	14.2	11.4	9.4	6.4	2.8

(4) むし歯の状況

○過去調査（平成17年度、平成22年度）との比較

20歳代、30歳代においては減少傾向を認めるが、40歳代以降は増加傾向にあり特に70歳代、80歳以上においては著明な有病者率の増加を認める。

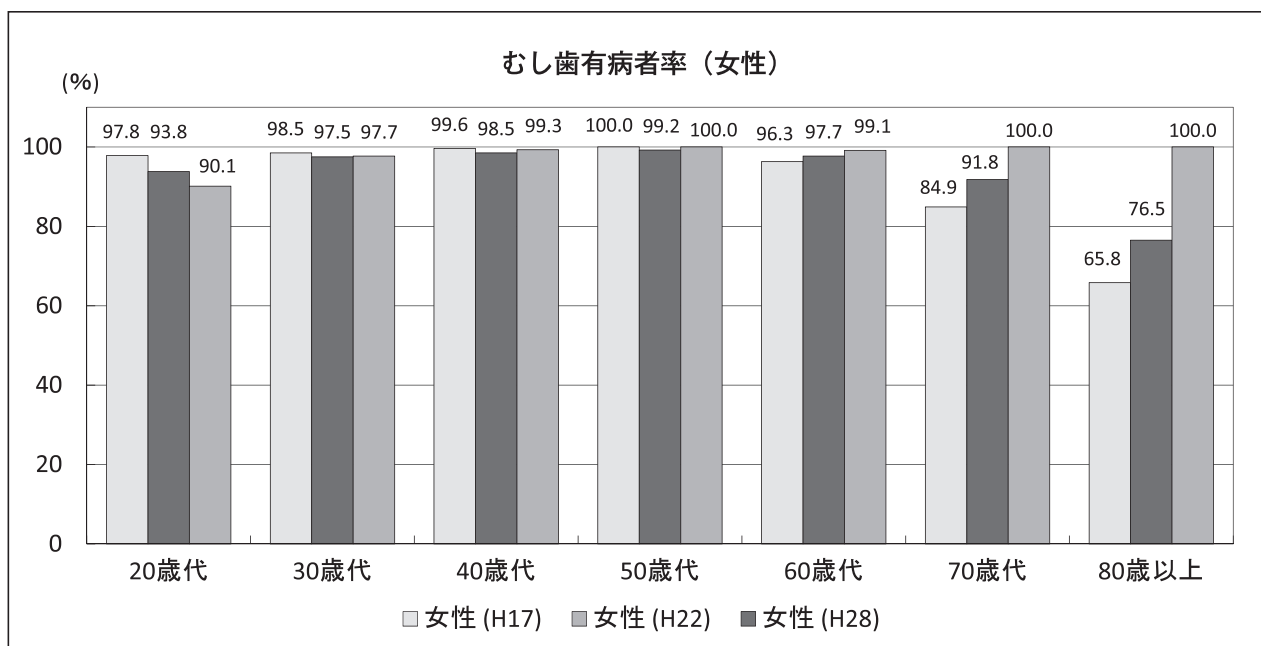
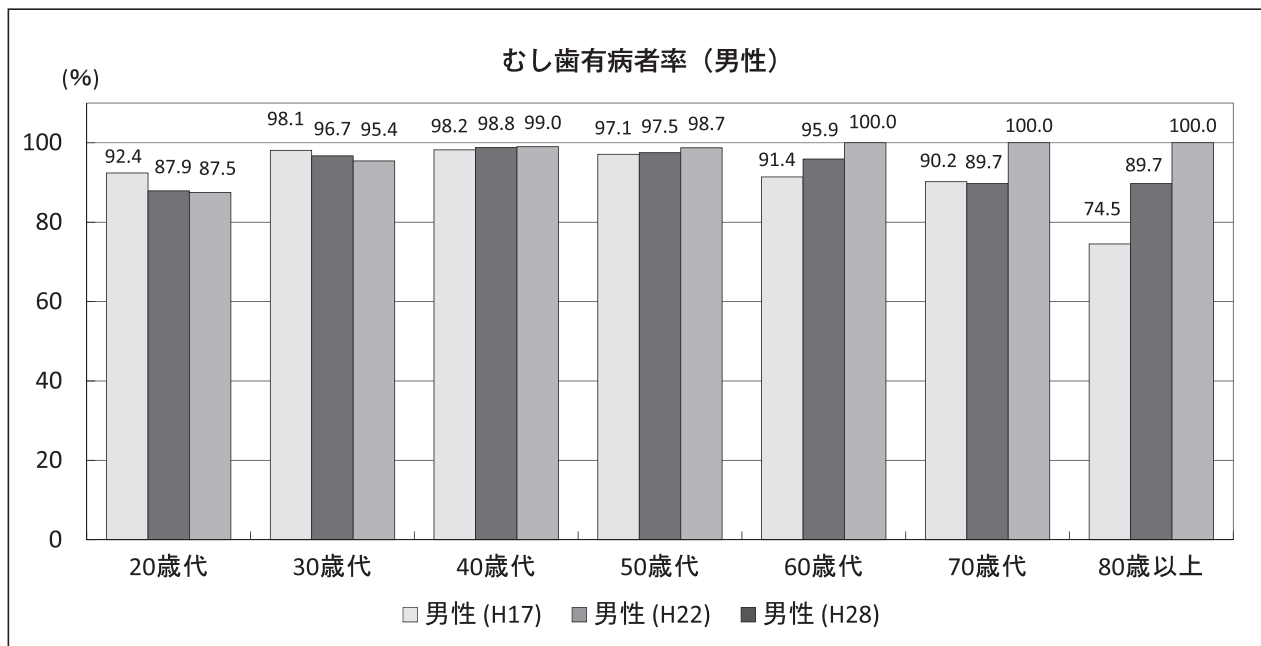


(単位：％)

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
鳥取 (H17)	95.2	98.3	98.8	98.3	93.9	87.2	69.4
鳥取 (H22)	91.9	97.3	98.6	98.5	96.9	90.9	80.8
鳥取 (H28)	89.1	96.9	99.2	99.6	99.5	100.0	100.0
全国 (H23)	93.1	97.5	99.0	98.3	94.7	88.0	74.6

○性別での比較

50歳代までは女性が男性よりむし歯有病率がやや高く、60歳以上はあまり差を認めない。



むし歯有病者率（男女別）

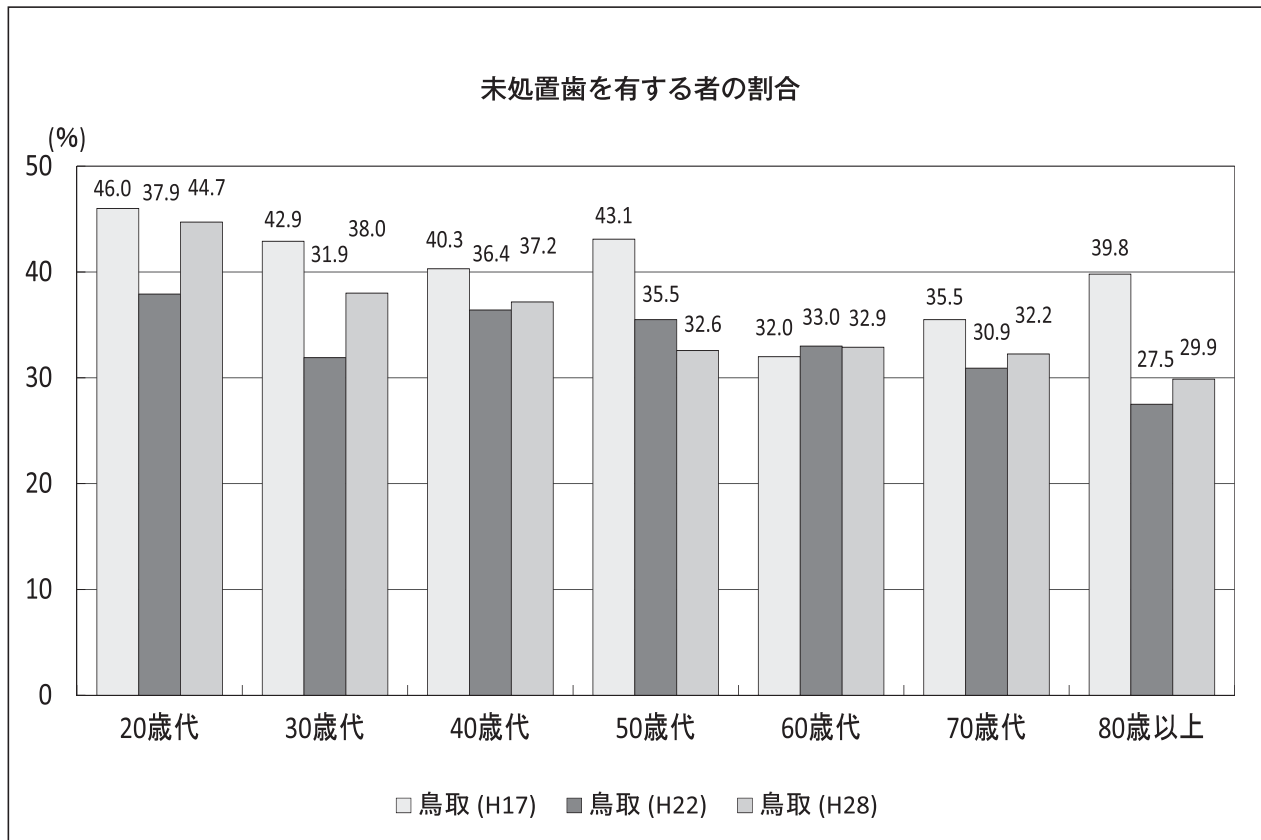
（単位：％）

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
男性（H17）	92.4	98.1	98.2	97.1	91.4	90.2	74.5
男性（H22）	87.9	96.7	98.8	97.5	95.9	89.7	89.7
男性（H28）	87.5	95.4	99.0	98.7	100.0	100.0	100.0
女性（H17）	97.8	98.5	99.6	100.0	96.3	84.9	65.8
女性（H22）	93.8	97.5	98.5	99.2	97.7	91.8	76.5
女性（H28）	90.1	97.7	99.3	100.0	99.1	100.0	100.0

(5) 未処置歯の状況

○過去調査（平成17年度、平成22年度）との比較

多くの年代において前回の調査より未処置歯を有する者の割合は全体に減少傾向にあるが、前回の調査より20歳代、30歳代の増加は著明である。

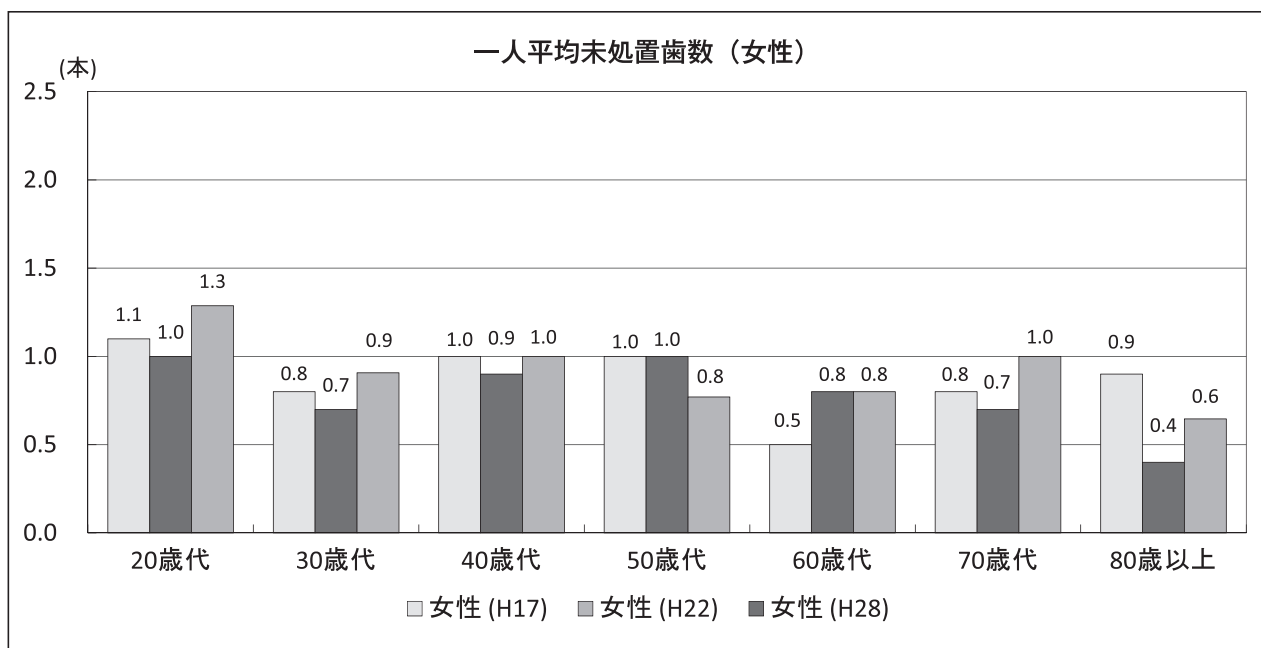
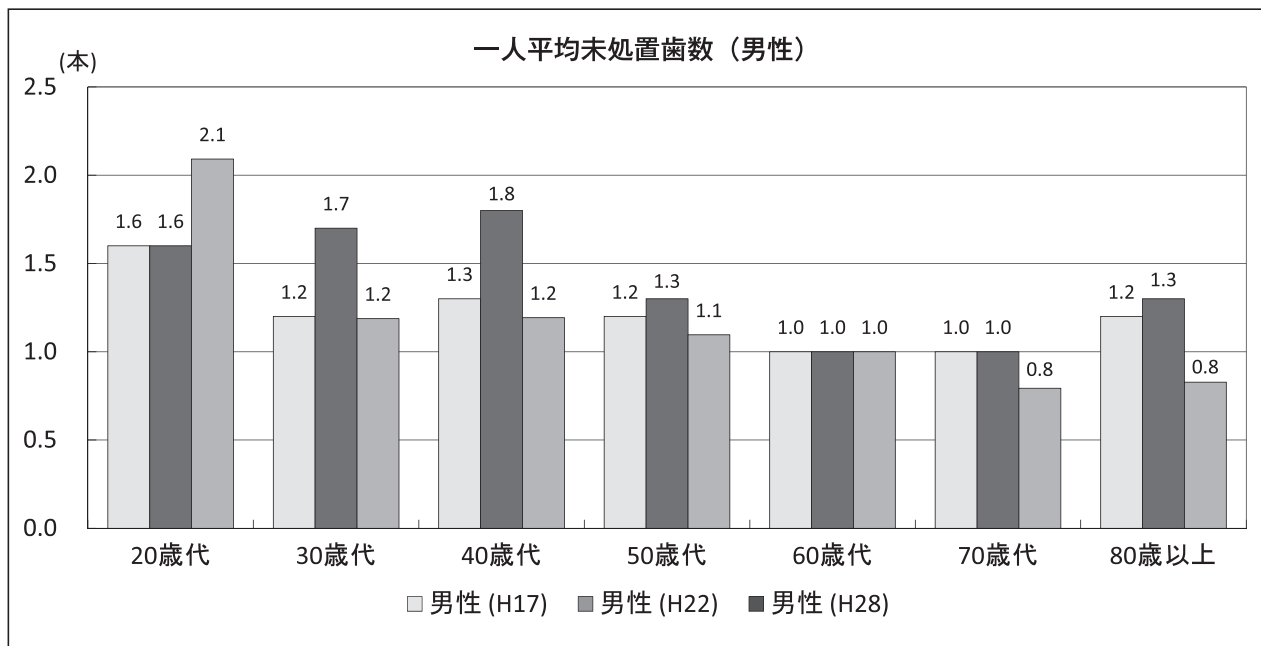


(単位：％)

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
鳥取 (H17)	46.0	42.9	40.3	43.1	32.0	35.5	39.8
鳥取 (H22)	37.9	31.9	36.4	35.5	33.0	30.9	27.5
鳥取 (H28)	44.7	38.0	37.2	32.6	32.9	32.2	29.9
全国 (H23)	43.1	38.8	35.0	35.0	36.0	37.5	36.6

○性別での比較

全ての年代において、男性の方が女性より多い。



一人平均未処置歯数（男女別）

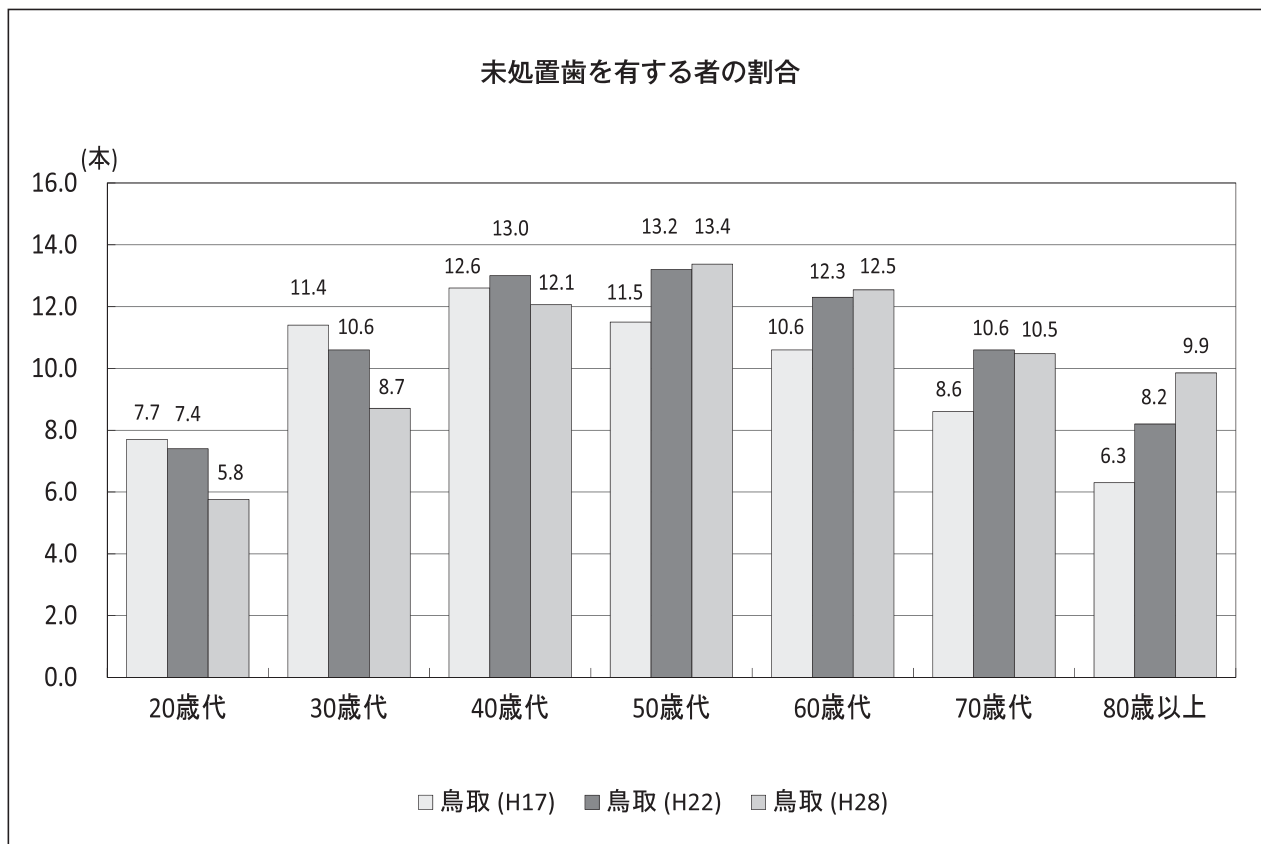
（単位：本）

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
男性 (H17)	1.6	1.2	1.3	1.2	1.0	1.0	1.2
男性 (H22)	1.6	1.7	1.8	1.3	1.0	1.0	1.3
男性 (H28)	2.1	1.2	1.2	1.1	1.0	0.8	0.8
女性 (H17)	1.1	0.8	1.0	1.0	0.5	0.8	0.9
女性 (H22)	1.0	0.7	0.9	1.0	0.8	0.7	0.4
女性 (H28)	1.3	0.9	1.0	0.8	0.8	1.0	0.6

(6) 処置歯の状況

○過去調査（平成 17 年度、平成 22 年度）との比較

一人平均処置歯数は20歳代、30歳代、40歳代で減少傾向にあるが、50歳代以降では増加傾向にある。

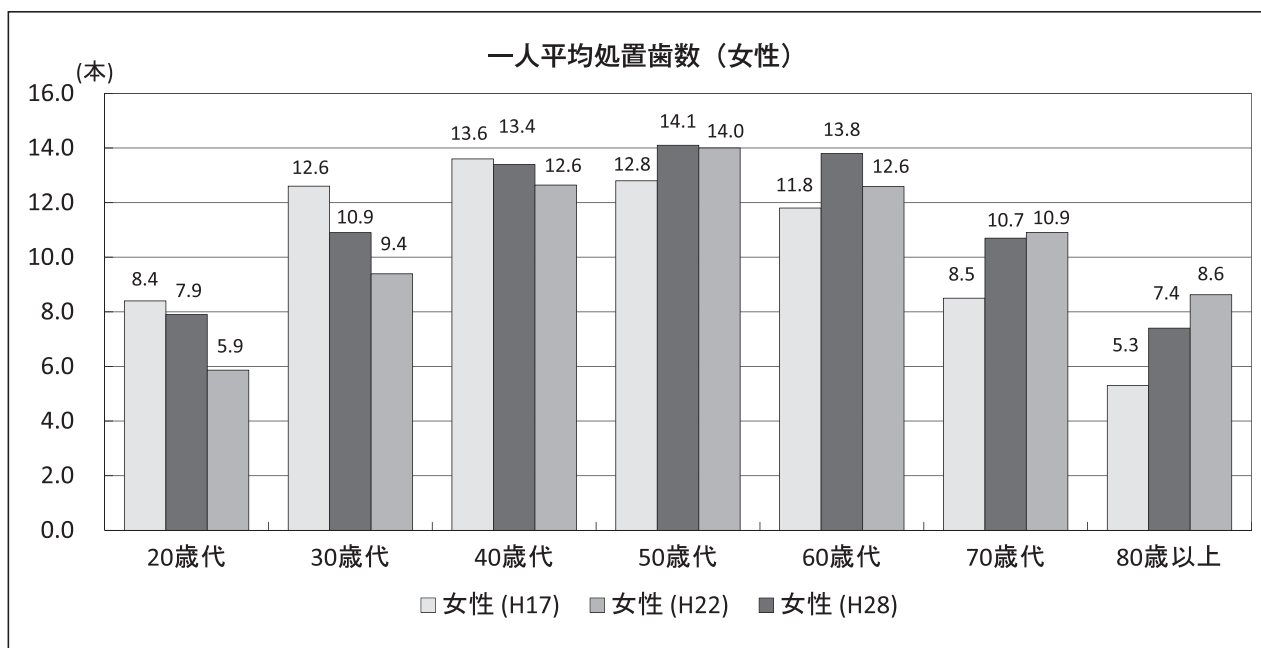
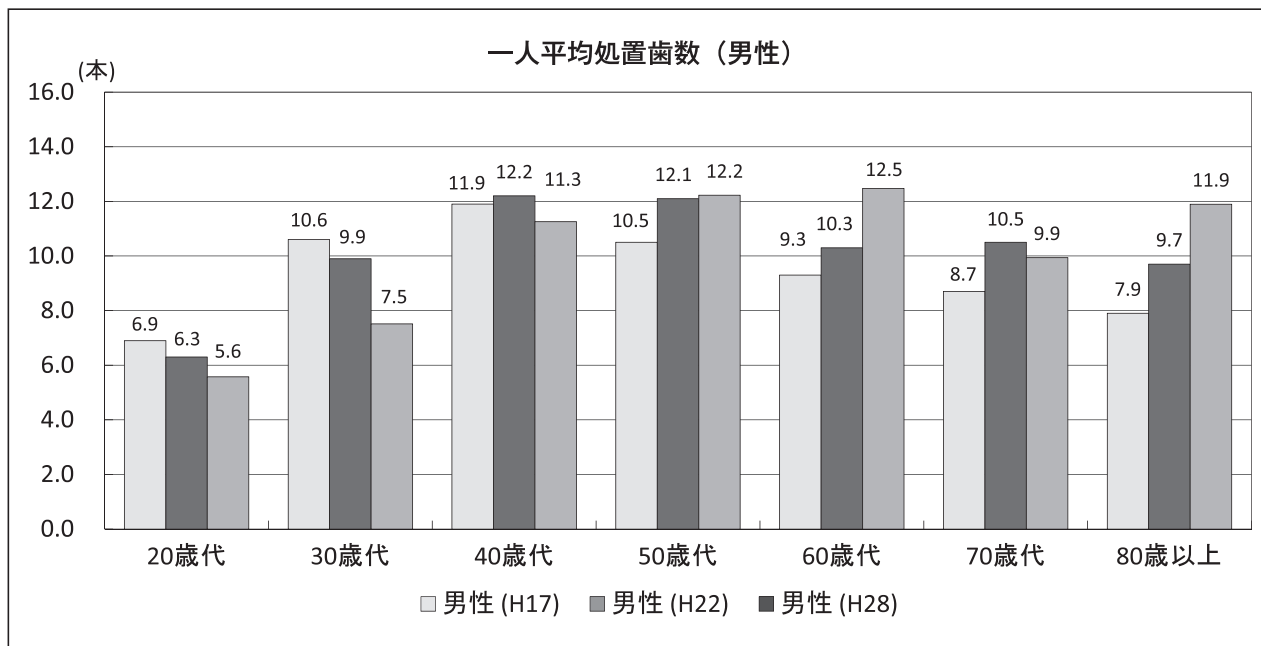


(単位：本)

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
鳥取 (H17)	7.7	11.4	12.6	11.5	10.6	8.6	6.3
鳥取 (H22)	7.4	10.6	13.0	13.2	12.3	10.6	8.2
鳥取 (H28)	5.8	8.7	12.1	13.4	12.5	10.5	9.9
全国 (H23)	6.0	9.9	11.7	12.5	11.0	9.2	6.4

○性別での比較

80歳以上を除くすべての年代において、女性の方が多い。



一人平均処置歯数（男女別）

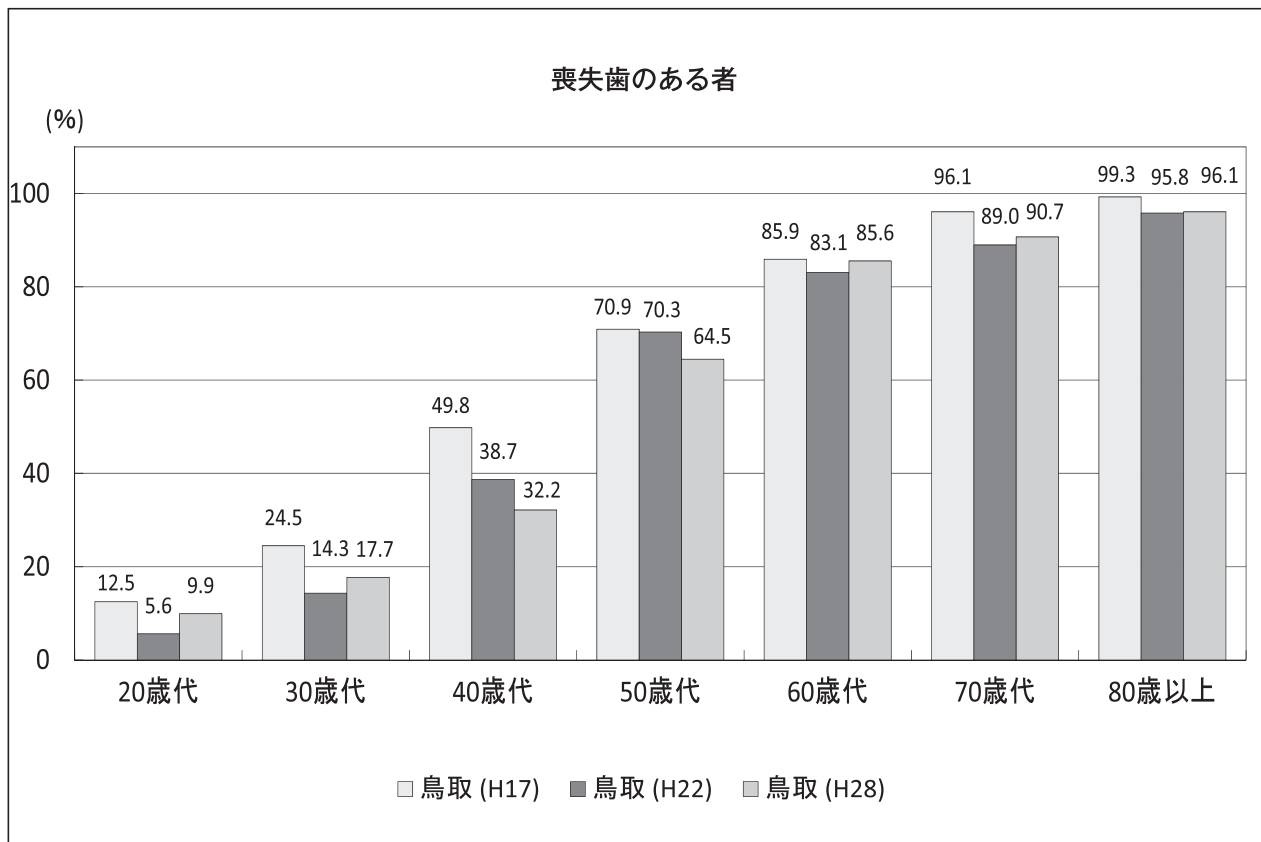
（単位：本）

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
男性（H17）	6.9	10.6	11.9	10.5	9.3	8.7	7.9
男性（H22）	6.3	9.9	12.2	12.1	10.3	10.5	9.7
男性（H28）	5.6	7.5	11.3	12.2	12.5	9.9	11.9
女性（H17）	8.4	12.6	13.6	12.8	11.8	8.5	5.3
女性（H22）	7.9	10.9	13.4	14.1	13.8	10.7	7.4
女性（H28）	5.9	9.4	12.6	14.0	12.6	10.9	8.6

(7) 喪失歯の状況

○過去調査（平成 17 年度、平成 22 年度）との比較

喪失歯のある者の割合は、20歳代で9.9%、30歳代17.7%、40歳代32.2%、50歳代64.5%、60歳代85.6%と年代を追う毎に増加している。平成22年度調査と比較して40歳代、50歳代では顕著な減少が見られる。

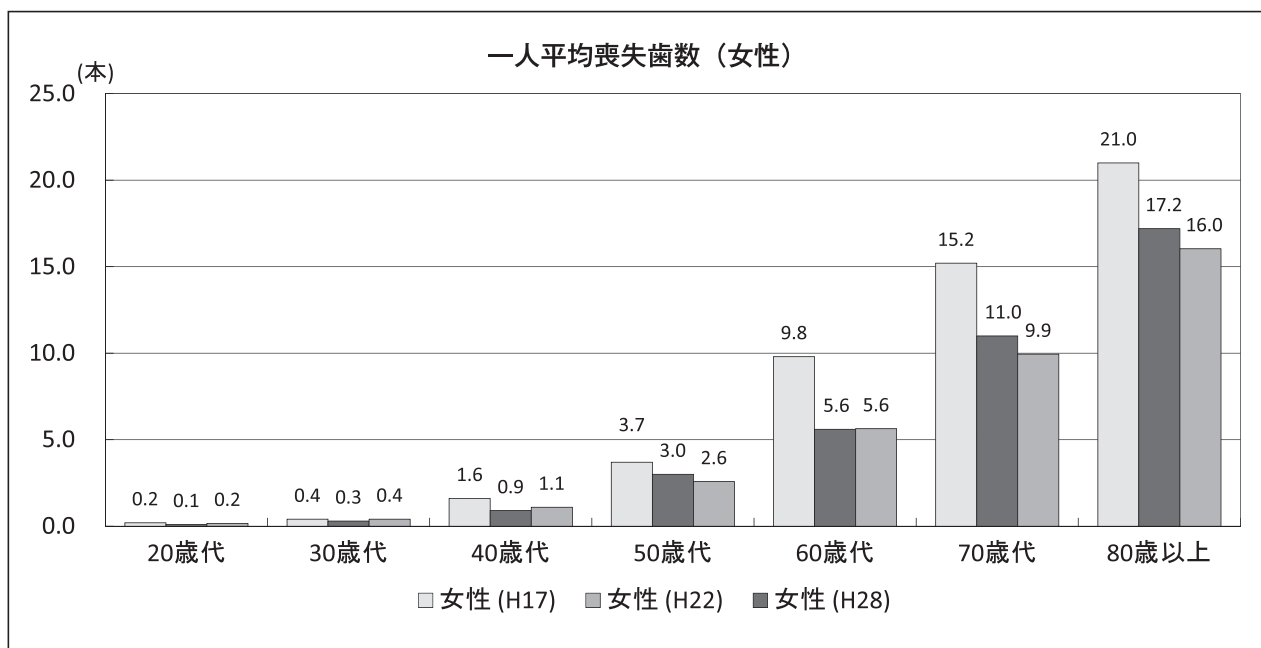
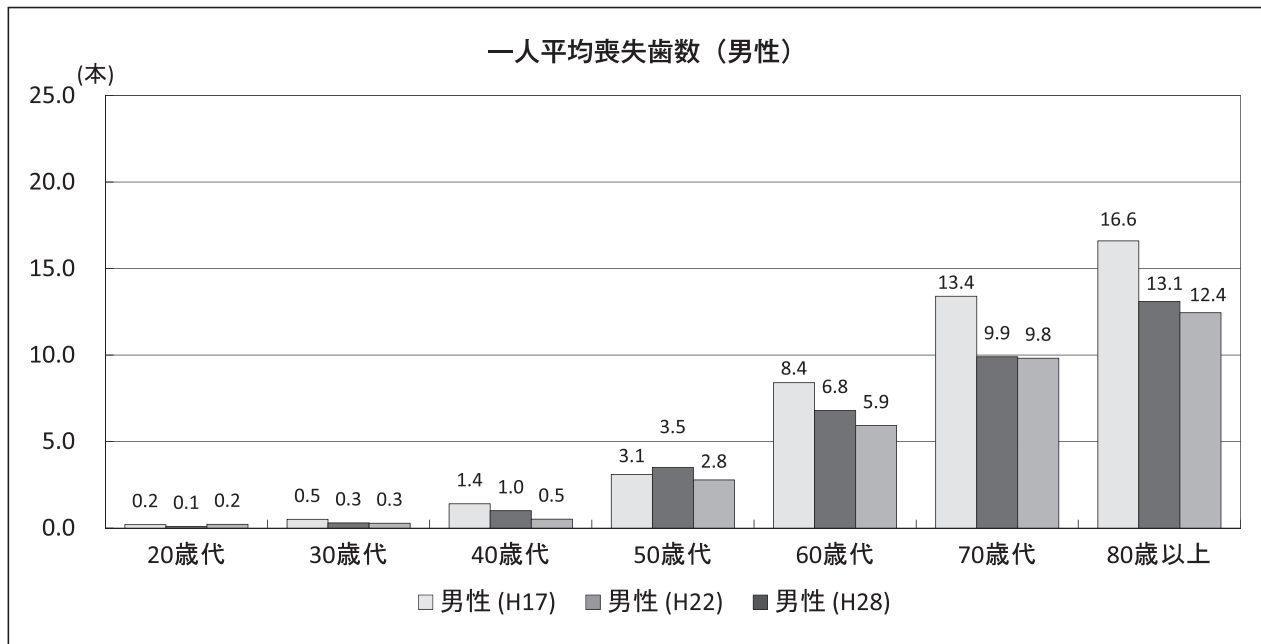


(単位：％)

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
鳥取 (H17)	12.5	24.5	49.8	70.9	85.9	96.1	99.3
鳥取 (H22)	5.6	14.3	38.7	70.3	83.1	89.0	95.8
鳥取 (H28)	9.9	17.7	32.2	64.5	85.6	90.7	96.1

○性別での比較

過去の調査ではすべての年代において男性より女性の方が一人平均喪失歯数が多い傾向にあったが、今回の調査では50歳代、60歳代で女性よりも男性の方が一人平均喪失歯数が多かった。



一人平均処置歯数（男女別）

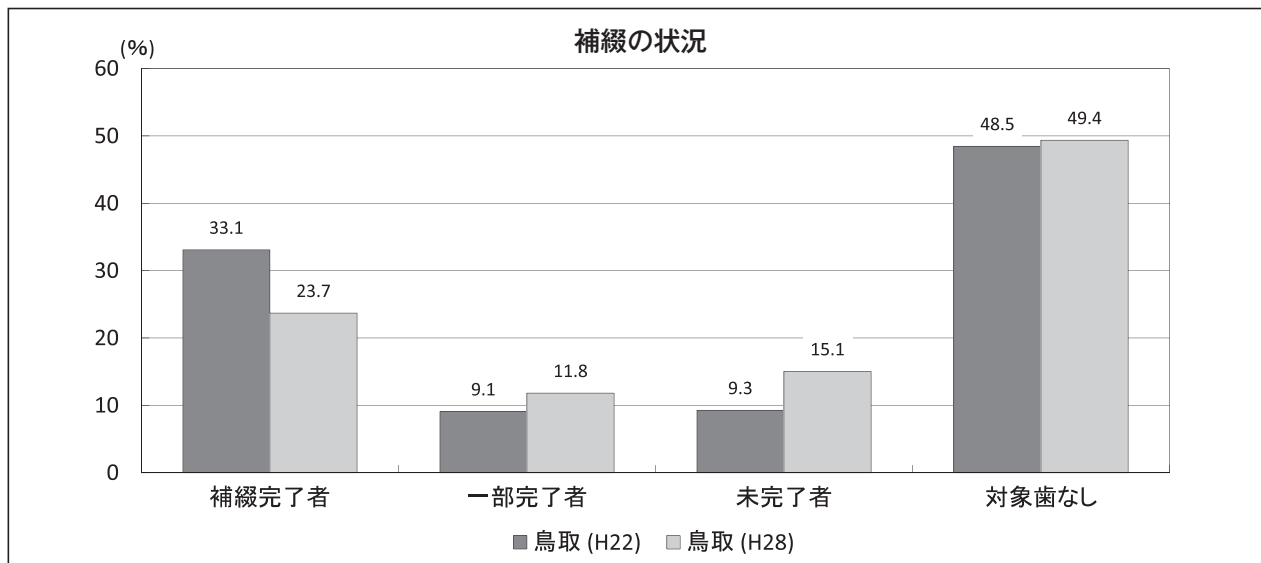
（単位：本）

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
男性（H17）	0.2	0.5	1.4	3.1	8.4	13.4	16.6
男性（H22）	0.1	0.3	1.0	3.5	6.8	9.9	13.1
男性（H28）	0.2	0.3	0.5	2.8	5.9	9.8	12.4
女性（H17）	0.2	0.4	1.6	3.7	9.8	15.2	21.0
女性（H22）	0.1	0.3	0.9	3.0	5.6	11.0	17.2
女性（H28）	0.2	0.4	1.1	2.6	5.6	9.9	16.0

(8) 補綴の状況

○前回調査（平成 22 年度）との比較

補綴を必要とする者が全体の50.6%で前回調査に比べてわずかに減少しているが、補綴完了者は全体の23.7%で前回調査に比べて10%減少している。



補綴の状況

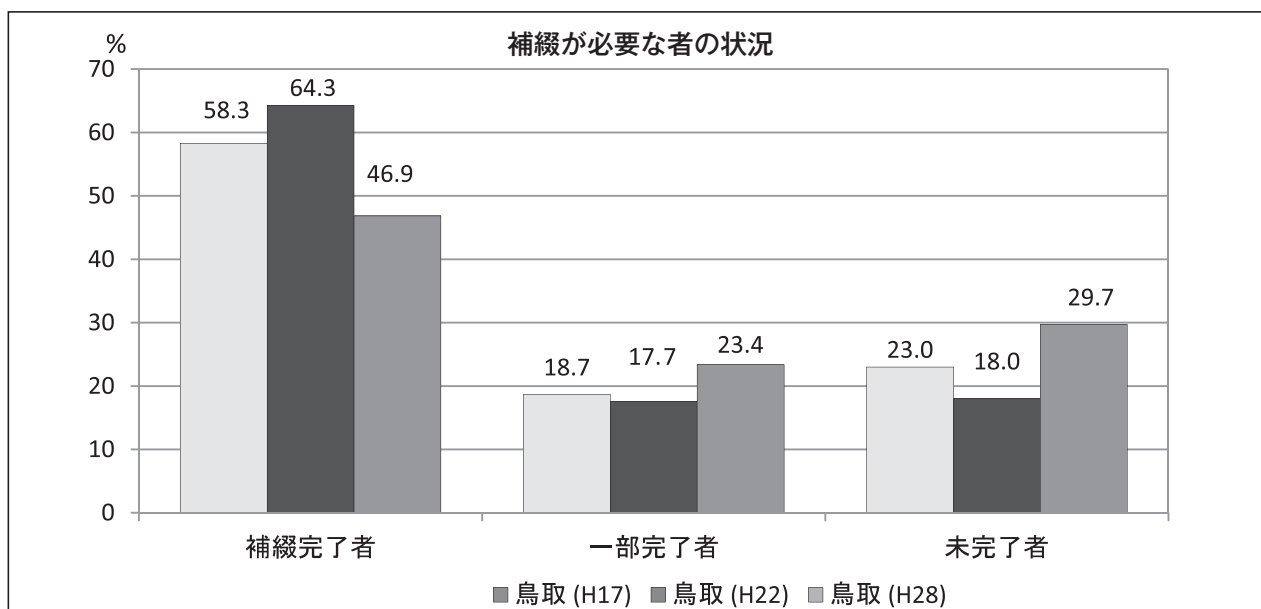
(単位：%)

	補綴完了者	一部完了者	未完了者	対象歯なし
鳥取 (H22)	33.1	9.1	9.3	48.5
鳥取 (H28)	23.7	11.8	15.1	49.4

補綴完了者＋一部完了者＋未完了者＋対象歯なしを 100 として算出

○補綴が必要な者の状況（平成 17 年度・平成 22 年度との比較）

過去調査では、増加傾向にあった補綴完了者が、今回調査で17.4%減少に転じた。



補綴の必要な者の状況

(単位：%)

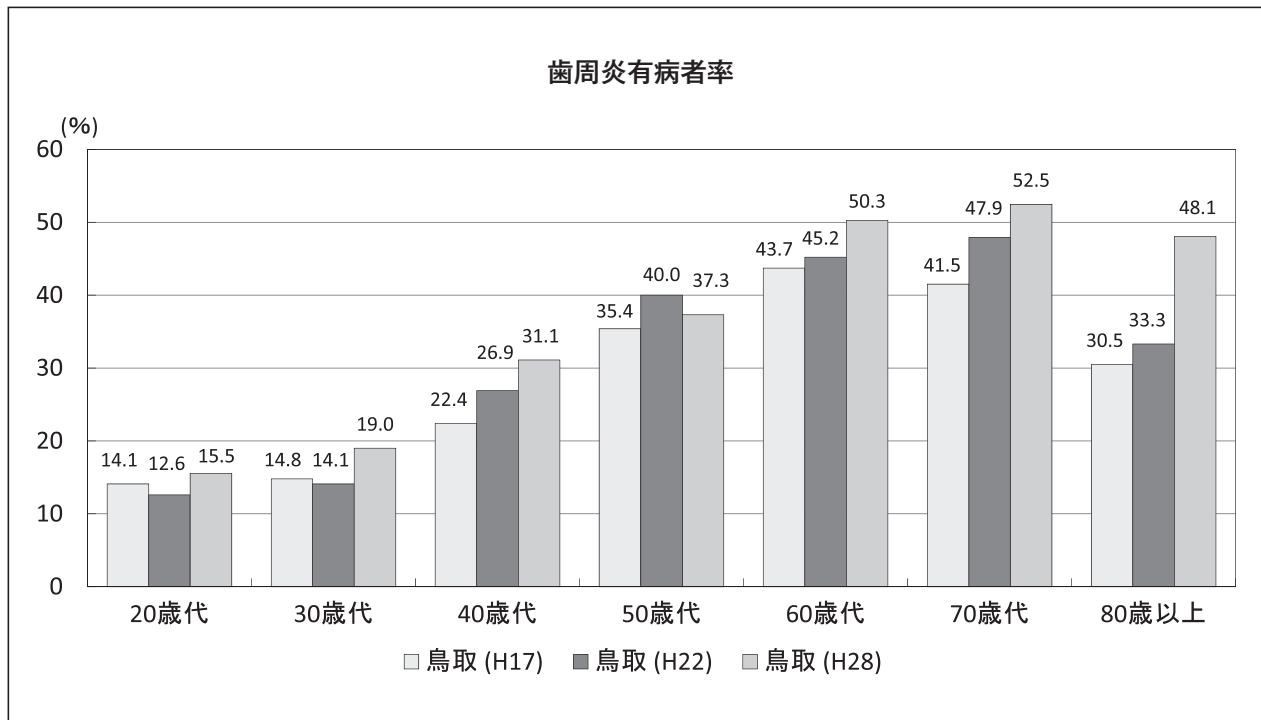
	補綴完了者	一部完了者	未完了者
鳥取 (H17)	58.3	18.7	23.0
鳥取 (H22)	64.3	17.7	18.0
鳥取 (H28)	46.9	23.4	29.7

補綴完了者＋一部完了者＋未完了者を100として算出

(9) 歯周病の状況

○過去調査（平成 17 年度、平成 22 年度）との比較

歯周炎有病者率は年代を追う毎に増加して60歳代以降では50%以上が歯周病に罹患している。過去調査と比較して50歳代を除くすべての年代で増加傾向にあり80歳以上での増加が顕著である。



(単位：％)

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
鳥取 (H17)	14.1	14.8	22.4	35.4	43.7	41.5	30.5
鳥取 (H22)	12.6	14.1	26.9	40.0	45.2	47.9	33.3
鳥取 (H28)	15.5	19.0	31.1	37.3	50.3	52.5	48.1
全国 (H23)	13.7	22.0	27.9	40.9	48.9	45.3	40.5

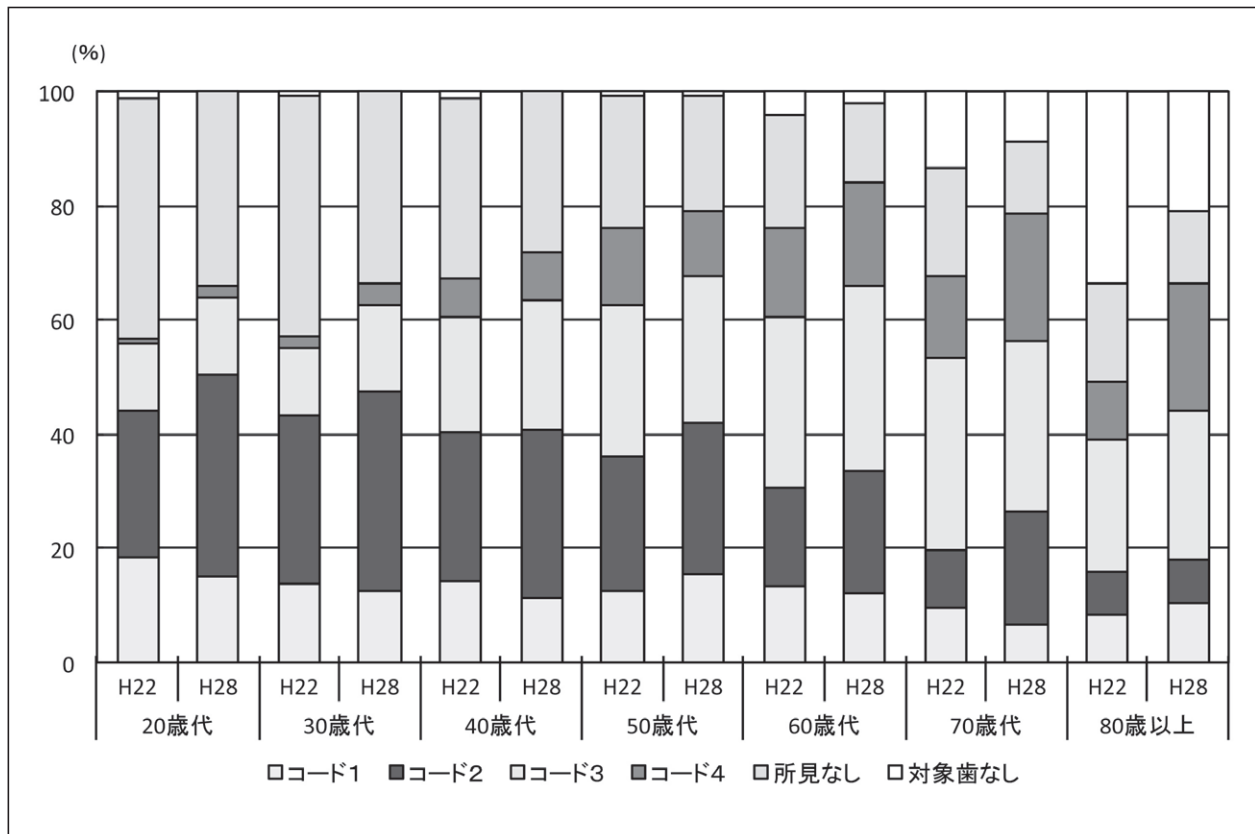
注) 歯周炎有病者率とは、4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合

○歯肉の所見の有無

・前回調査（平成 22 年度）との比較

所見なしは年代を追う毎に減少している。コード 1 は特徴的な傾向は示さなかった。コード 2 は 20 歳代が最も多く以降年代を追う毎に減少している。コード 3、コード 4 はコード 2 とは逆に年代を追う毎に増加傾向にある。

前回調査との比較ではコード 2、コード 3、コード 4 ですべての年代において増加傾向にある。



(単位：%)

	所見のあるもの										所見なし		対象菌なし	
	総 数		コード 1		コード 2		コード 3		コード 4					
	H22	H28	H22	H28	H22	H28	H22	H28	H22	H28	H22	H28	H22	H28
20 歳代	56.7	65.8	18.3	15.2	25.8	35.1	11.8	13.7	0.8	1.9	42.2	34.2	1.1	0.0
30 歳代	57.1	66.4	13.9	12.5	29.2	34.9	12.1	15.3	2.0	3.7	42.1	33.6	0.8	0.0
40 歳代	67.1	72.0	14.4	11.5	25.8	29.4	20.4	22.3	6.5	8.8	31.6	28.0	1.4	0.0
50 歳代	76.0	79.1	12.6	15.5	23.4	26.3	26.8	25.8	13.2	11.5	23.2	20.0	0.9	0.9
60 歳代	76.1	84.0	13.3	12.0	17.5	21.7	29.5	32.4	15.7	17.9	19.7	13.9	4.2	2.1
70 歳代	67.5	78.7	9.4	6.6	10.2	19.7	33.6	30.1	14.3	22.4	19.3	12.6	13.2	8.7
80 歳以上	49.2	66.2	8.3	10.4	7.5	7.8	23.3	26.0	10.0	22.1	17.5	13.0	33.3	20.8

コード 0 歯肉に炎症の所見が認められない

コード 1 プロービング後に出血が認められる

コード 2 歯石の沈着（歯肉縁下 4 mm までのプロービングによる検出を含む）

コード 3 ポケットの深さが 4 mm 以上 6 mm 未満

コード 4 ポケットの深さが 6 mm 以上